

# 図書室だよ!



令和6年12月2日(月)発行  
潮来市立潮来第一中学校図書室

## 豆知識

### しわす 【師走】

師走の語源で最も有名な説では、師匠の僧がお経をあげるために東西を馳せる月と解釈する「師馳す(しはす)」があります。その他、「年が果てる」意味の「年果つ(としはつ)」が変化したとする説もあり、万葉集の頃から「シハス」と呼ばれていたとも言われています。



### たいせつ 《大雪》 12/7

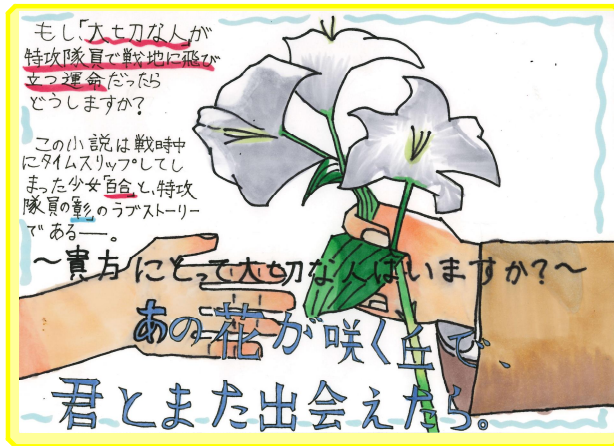
小雪から数えて15日目が「大雪」。いよいよ本格的な冬の到来で、日本海側では雪の日が多くなり、根雪となっていく一方、太平洋側は乾燥した晴天が多くなります。

### とうじ 《冬至》 12/22

1年で最も昼の長さが短くなる「冬至」。しかし、この日を過ぎれば再び日は長くなっていきます。この現象を表す「一陽来復」という熟語がありますが、この熟語、不運が去って物事が良い方向に向かうという意味でも使われています。

## ☆潮来一中ポップコンテスト2024☆

紫煌祭に合わせて、みんなに応募してもらったポップでコンテストを行いました。全校生徒に加え、紫煌祭に来校して下さった保護者の方にも投票していただきました。受賞したのは、誰の作品だったのでしょうか!?

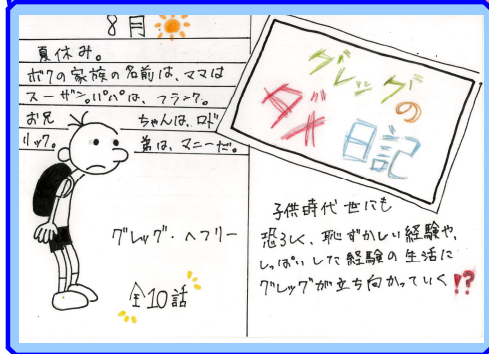


《金賞》  
2-2 〇〇〇〇さん  
『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

《銀賞》  
1-2 〇〇〇〇さん  
『ぼくとニケ』



《銅賞》  
1-1 〇〇〇〇さん  
『グレッグのダメ日記』



市立図書館ポップコンテストとは、また違う結果となりました。受賞された3名の皆さん、おめでとうございます☆後日、図書委員から表彰させていただきます(\*\*\*)

作品は2階ホール付近に掲示しておりますので、引き続きご覧ください♪ 来年度もよろしくお祈りします!



【問題】  
1899年に始まった年賀郵便の特別取扱。事前にまとめて指定の郵便局に持ち込めば、元日の消印で受理してくれるというものでした。特別扱いしたのはなぜ?  
ア. 年末年始は配達人が休みで配達できないから  
イ. めでたい挨拶なので、俗な手紙とは一緒にできないから  
ウ. 年賀状が殺到し、年末年始の郵便物の処理が大変になったから

【前号の答え】ア. ピッピー  
『長くつ下のピッピー』は、数々の奇妙な才能をもった少女ピッピーの物語です。

## ☆オススメの本☆

### 「幸せとは何か？ 最適な人生の見つけ方」

(神戸大学出版会／刊 木島英登／著 かんべみのり／まんが)



著者は高校3年生のときに脊髄を損傷し、車椅子生活になりますが、それにくじけず、ほぼ1人で世界175カ国を旅しました。多くの国の人々と接した著者が、感じ、考えたことを本にまとめました。

「無意識の偏見は、意識的な悪意よりも残酷」「happyの語源は happen。自ら行動しないと幸せにはなれない」「トイレがなかったためのために、尿瓶を常に持ち歩いている。プランBを用意すれば、精神的余裕ができる」

困難と向き合ってきた経験に裏付けられた、実践的なメッセージは、中高生にもきっと伝わるでしょう。4コマ漫画を添えた、読みやすい構成も魅力です。

### 「青い月の下、君と二度目のさよならを」

(スターツ出版／刊 いぬじゅん／著)

高校生の実月は、幼なじみの同級生、碧人に片想い中。以前、2人で空に浮かぶ青い月を見付け、この月の伝説を調べてから彼に恋心を抱いていましたが、近頃は距離を感じて悩んでいました。

ある日、また青い月を見付けた実月は、不思議な黒猫に導かれて旧校舎に行き、生徒の幽霊と遭遇。伝説の内容から、自分が幽霊と生者をつなぐ「使者」になったことを悟った実月は、様々な幽霊と出会い、碧人や友人に協力してもらいながら役割を果たしていきます。しかし、実月と碧人に関わる哀しい秘密が明らかになって……。

切なくもあたたかな気持ちになる、ファンタジックな恋物語です。



## 12月の出来事

### 東京タワーの日

12月23日(月)は「東京タワーの日」です。1958(昭和33)年のこの日、東京・芝公園に東京タワーが完成(竣工)し、完工式が行われました。海拔333m(海拔高351m)で、フランス・パリのエッフェル塔の312mより12m高く、当時世界一の高さの建造物でした。

東京タワーの正式名称は「日本電波塔」で、東京のシンボル・観光名所となっています。自立式鉄塔としては、2012(平成24)年に完成した東京スカイツリーに抜かされるまで、日本一の高さでした。

スカイツリーの完成により、東京タワーは電波塔としての役割を終えましたが、今も東京のシンボルとして愛されています。



私たちの星

谷川 俊太郎

はだして踏みしめることの出来る星  
土の星

夜もいい匂いでいっぱい星  
花の星

ひとしずくの露がやがて海へと育つ星  
水の星

道ばたにクサイチゴがかくれている星  
おいしい星

遠くからの歌声の聞こえてくる星  
風の星

さまざま言葉が同じ喜びと悲しみを語る星  
愛の星

すべてのいのちがいつかともに憩う星  
ふるさとの星

数限りない星の中のただひとつの星  
私たちの星